



2026年4月3日

各 位

会 社 名 株式会社アプリックス  
代表者名 代表取締役社長 倉 林 聡 子  
(コード：3727、東証グロース)  
問合せ先 IR・コーポレート推進部部长 岩 井 俊 輔  
(TEL. 050-3786-1715)

## (開示事項の経過) 名古屋証券取引所への重複上場申請の取り下げに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年11月13日付適時開示「名古屋証券取引所への重複上場申請に関する取締役会決議のお知らせ」及び2025年6月10日付適時開示「(開示事項の経過) 名古屋証券取引所への重複上場申請における審査状況のお知らせ」でお知らせした株式会社名古屋証券取引所(以下「名古屋証券取引所」)メイン市場への重複上場申請(以下「本上場申請」)について、取り下げを決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 本上場申請の取り下げの理由

当社は、2024年11月13日付適時開示「名古屋証券取引所への重複上場申請に関する取締役会決議のお知らせ」でお知らせしたとおり、東海地区をはじめとしたより多くの皆様に向けて当社の認知度向上を図り、接点増加の機会を増やすことにより、個人株主の増加を図るとともに株式時価の向上及び株式の流動性を高めることを主な目的として、本上場申請を行うことを決定しました。そのうえで、2025年6月10日付適時開示「(開示事項の経過) 名古屋証券取引所への重複上場申請における審査状況のお知らせ」でお知らせしたとおり、名古屋証券取引所の審査の過程において、ビジネス面や業績面についていくつか継続的に状況を確認したい点があるとの連絡を受けたことにより、2026年4月を審査期限として継続的に審査が実施されておりました。このような中、2026年1月16日付適時開示「株式会社アプリックスと株式会社グローバルキャストの持株会社体制への移行を前提とした株式交換に関する最終合意に関するお知らせ」でお知らせしたとおり、当社は、2026年4月1日を効力発生日とする株式会社グローバルキャストとの株式交換(以下「当該株式交換」)の実施及び持株会社体制への移行を進めており、当社グループは営業体制を強固にし、収益基盤の拡充及び中長期的な企業価値向上に向けた重要な転換点を迎えております。一方で、当該体制移行に伴い、当面は組織体制及び事業構造が大きく変化する過渡期にあることから、現時点においては当社グループの事業構造および業績の安定的な姿を示すことが難しい状況となっております。

これらの状況を総合的に勘案し、現時点での上場審査を継続するよりも、持株会社体制への移行および新たな事業基盤の確立を優先することが、株主価値の向上に資するものと判断し、本上場申請を一旦取り下げることにいたしました。

#### 2. 今後の見通し

本上場申請の取り下げによる業績への影響はありません。

なお、今回申請取り下げという結果となりましたが、当社は、個人投資家向け施策に積極的に取り組む名古屋証券取引所の特徴に大きな魅力を感じており、個人株主の拡大を図るうえで、同取引所メイン市場への重複上場は有効な選択肢であると考えております。

今後は、株式交換後の持株会社体制への移行状況や事業の進展を踏まえ、最適なタイミングを見極めながら、名古屋証券取引所メイン市場への重複上場について改めて前向きに検討していく予定です。

以 上